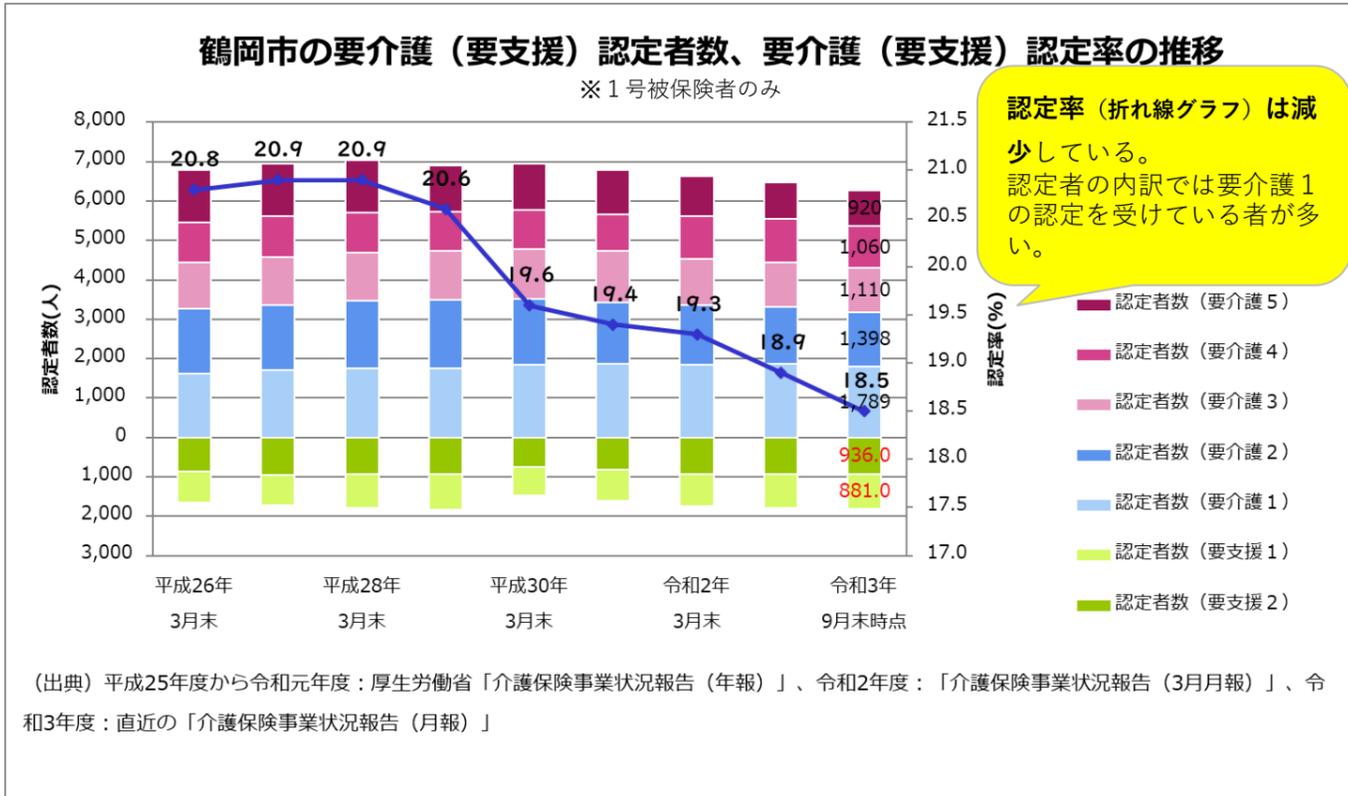


鶴岡市の要介護認定の傾向について(報告)

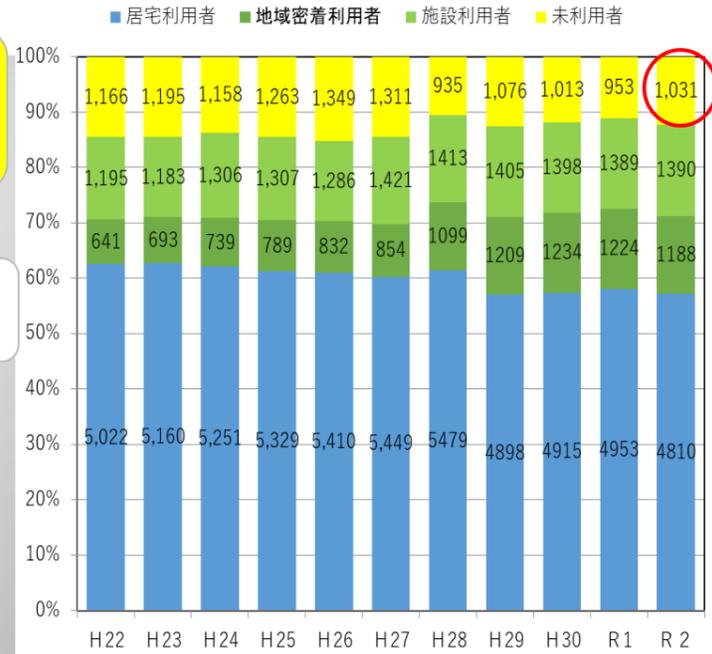
◆認定率



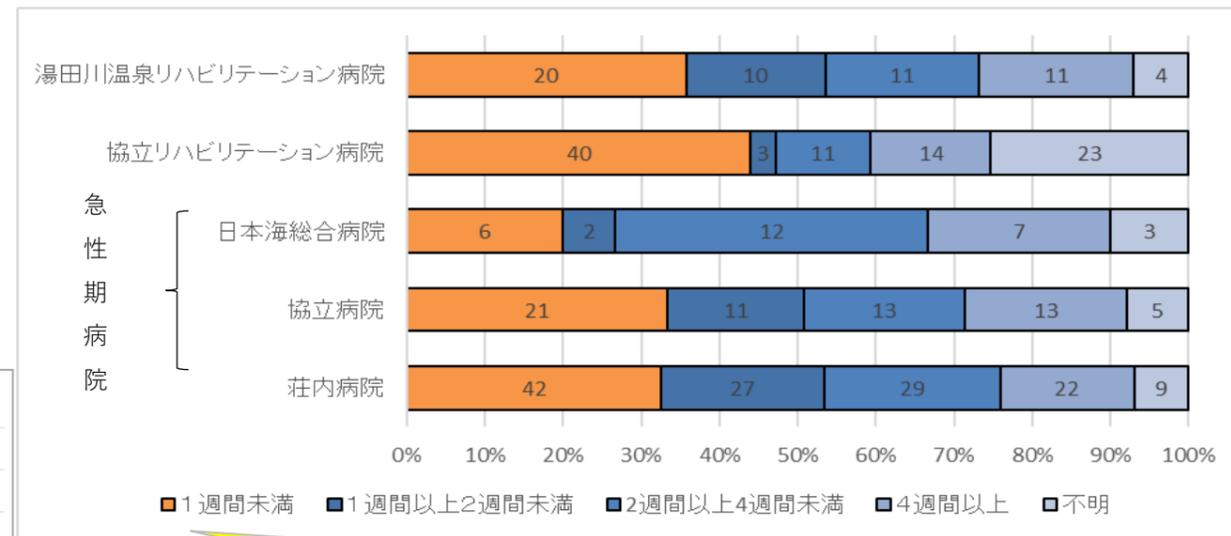
◆新規申請者の利用希望サービス



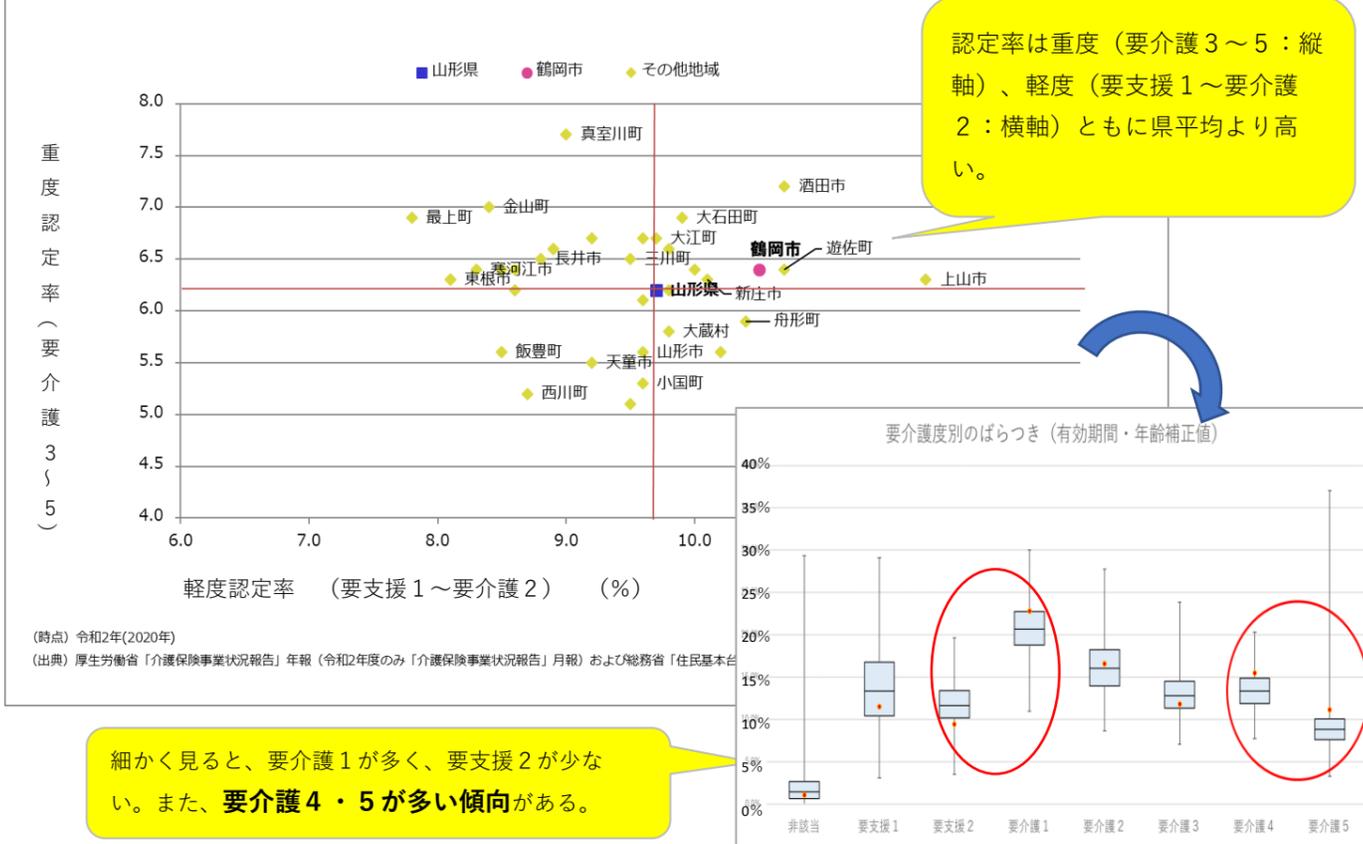
◆認定者のサービス利用状況



◆入院中の新規申請の状況(入院から申請までの日数)



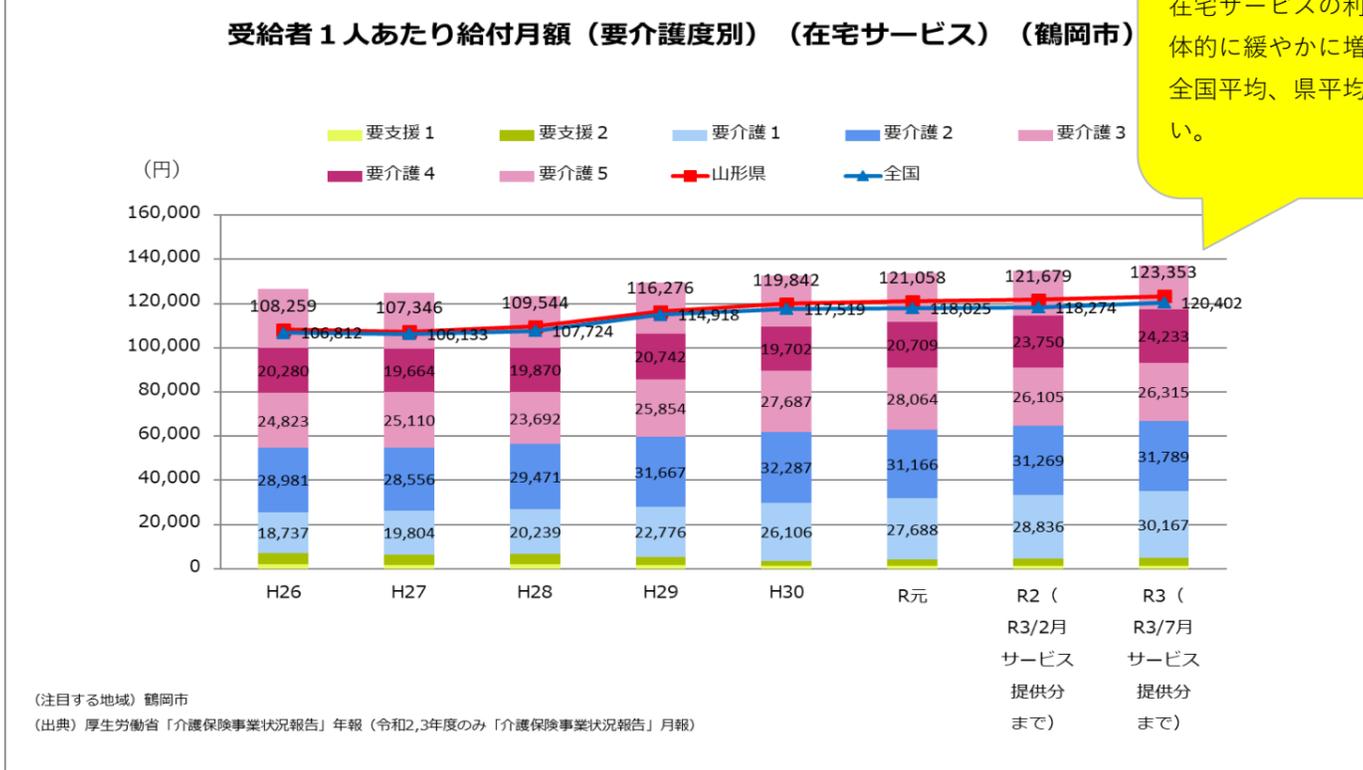
調整済み重度認定率と調整済み軽度認定率の分布(令和2年(2020年))



入院から1週間以内に申請しているケースの内、入院予定期間が2週間未満のケースは8件(5.7%)のみで、最も多いのは退院の目的が立っていないケース110件(78.6%)、次いで4週間以上の16件(11.4%)であった。

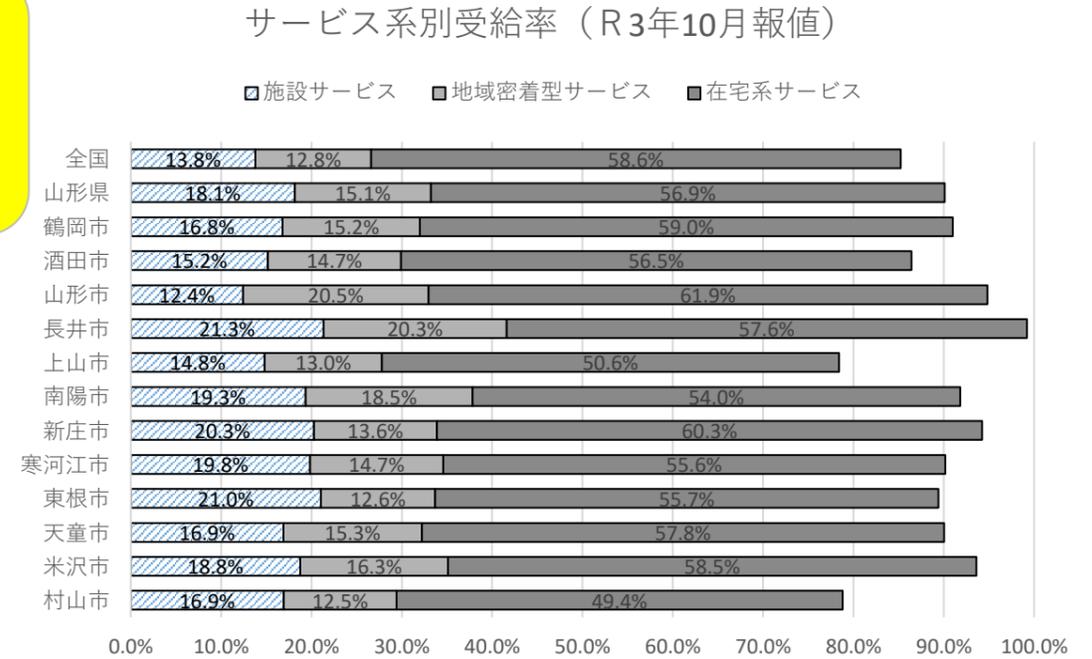
鶴岡市の介護保険給付の傾向について(報告)

◆給付費の推移



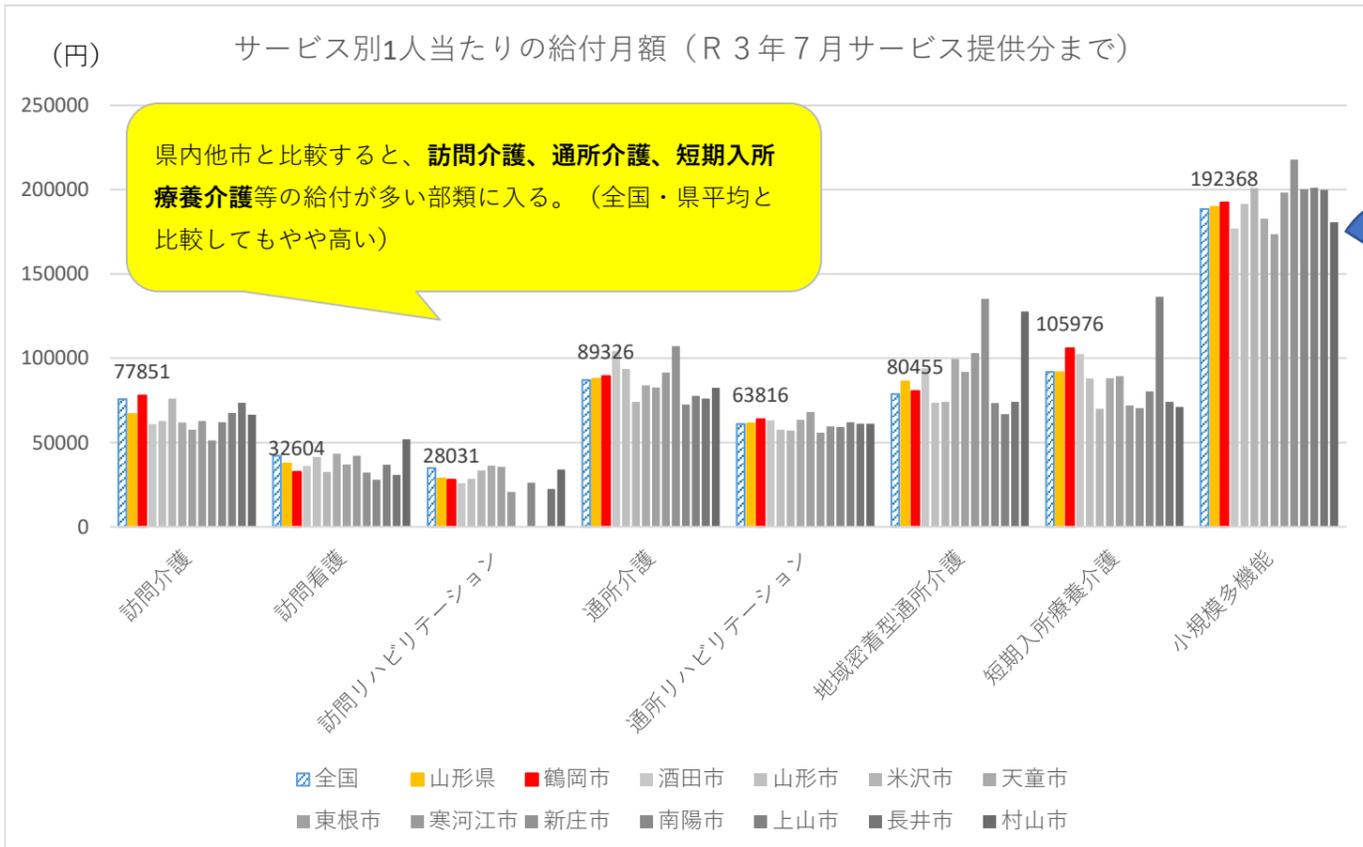
在宅サービスの利用月額は全体的に緩やかに増額傾向。全国平均、県平均よりも高い。

◆施設・居住系・在宅受給者割合



受給率(利用者数/認定者数)を見ても在宅系サービスは県・全国平均よりもやや高い。また、施設サービスは全国平均より高く、県平均よりは低い。全国平均と比較するとサービス未利用者の割合は低い可能性があり、施設入所者の割合は高い傾向にある。

◆在宅サービスのサービス別給付状況



- 通所介護、訪問介護、短期入所(療養・生活)の月平均利用回数をみると、訪問介護は県・全国平均と比較して多い。短期入所(療養)もやや多い。
- 訪問介護については生活援助の定数越えの申請数がさほど多くないことから身体介護で利用されていると思われる。また、有料老人ホームやサ高住等入居者のプランでは、訪問介護が頻回に入っているケースが散見されることから有料老人ホーム・サ高住入居者による利用によって平均値が上がっている可能性も考えられる。

